

平成 30 年度事業報告書（錦海リハビリテーション病院 エリア）

1 平成 30 年度総括（成果、反省等を簡単に）

回復期リハビリテーション病棟の医療提供実績は下記の通り。

入院患者数：231人、退院患者数：233人、平均稼働病床数：40.6床、病床稼働率：84.6%、平均在院日数：63.9日、疾患別構成：脳血管疾患68%・骨関節疾患25%・廃用症候群6%・その他 1%、入院時重症患者割合（基準30%以上）：33.2%、入院時重症患者改善（4 点以上）割合（基準30%以上）：57.9%、実績指数（基準：27 以上）：40.9、リハビリ提供実績（1 患者1 日平均）：7.9 単位（2 時間38分）、各種学会にて演題（全国学会44演題、地方学会2演題、こうほうえん研究発表大会22演題）の発表業績。

2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））

- 1) 回復期リハビリテーション入院料 1 の施設基準継続達成
- 2) 職員教育・研修体制の強化

3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

- 1) 回復期リハビリテーション料 1、体制強化加算の継続算定、在宅復帰率80%以上
⇒達成：基準・要件達成により継続算定中。在宅復帰率87.5%（達成率109.3%）
- 2) 病院機能評価更新に向けた改善活動の継続
⇒達成：患者さんへ良質なりハビリテーション医療の提供に向けて、係る業務は病院全体及び各部門で標準化し、PDCA サイクルによる改善活動の定着を進めている。

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第 1 位）

事業所名	定員（人）	平成 30 年度（%）	平成 29 年度（%）	平成 28 年度（%）
錦海リハビリテーション病院	48	84.6	91	88.7

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	看護の日、介護の日、クリスマス会、運動会
エリア内研修状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新規職員研修（他部署体験研修含む） ・毎週木曜日に各部署・委員会の持ち回りで研修会を企画実施（リハ医療関連、人権学習、医療安全、院内感染、医薬品、医療機器、個人情報保護等） ・各部署内研修及び院外研修伝達講習会等
エリア内会議、委員会活動	1. 運営会議（幹部会議）、2. 病床会議、3. 部門調整会議、4. 改善委員会、5. 倫理委員会、6. 院内感染防止対策委員会、7. 医療安全管理委員会、8. 転倒転落対策チームまくれん隊、9. 医療機器安全管理委員会、10. 褥瘡対策委員会、11. 褥瘡対策チーム会、12. NST 委員会、13. 栄養ケア委員会、14. 薬事委員会、15. 医療ガス安全管理委員会、16. 職員衛生委員会、17.

	診療録管理委員会、18. 病院機能評価委員会、19. 病院機能評価チーム会
委員会活動等の 成果・実績・反省	病院機能評価認定後も病院機能評価チーム会を中心に改善活動が継続できている。質向上と業務効率化を両立しての業務改善に取り組んでいる。

6 人財状況

外部研修等講師派遣実績	<p>松江市在宅医療・介護連携支援センター公開講座 こんなところが変わった!地域の医療・介護～2018年 診療報酬・介護報酬改定～、松江市在宅医療・介護連携支援センター主催、H30.5.14、松江市</p> <p>・角田賢(医師・病院長)</p> <p>2018年医療・介護報酬同時改定 何が変わったのか 医療機関の変化が介護分野にどう影響するか</p> <p>第38回アクティブシニア健康教室、H30.5.25、安来市</p> <p>・長崎正義(理学療法士)</p> <p>腰痛予防のための知識と体操</p> <p>平成30年度地域包括支援センター職員研修会(初任者向け)、H30.6.14、倉吉市</p> <p>・木佐高志(言語聴覚士)</p> <p>言語聴覚士ができる介護予防の取り組み</p> <p>Stroke Seminar in Yonago、H30.6.15、米子市</p> <p>・井後雅之(医師・名誉院長)</p> <p>脳卒中の地域連携、回復期リハから地域包括ケアへ</p> <p>第39回アクティブシニア健康教室、H30.6.22、米子市</p> <p>・野坂進之介(理学療法士)</p> <p>認知症予防のカギとなる「生活習慣の改善」について学ぶ</p> <p>第19回日本言語聴覚学会 失語症者向け意思疎通支援者指導者研修会修了者のつどい、日本言語聴覚士協会主催、H30.6.22-23、富山県</p> <p>・松橋菜実子(言語聴覚士)</p> <p>失語症者向け意思疎通支援者養成事業 ～一般社団法人山陰言語聴覚士協会の取り組み～</p> <p>認知症予防に関するワークショップ、大江ノ郷自然牧場主催、H30.6.29、八頭郡</p>
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・今田健(理学療法士・リハビリ技術部課長)、野坂進之介、遠藤美紀、足立睦未、烏谷香蓮(理学療法士)

「学・動・食」で防ぐ認知症対策

米子市地域リハビリテーション活動支援事業、米子市主催、H30.7.28、米子市

・岩田久義(言語聴覚士・リハビリ技術部主任)

口腔機能の話と予防体操 いつまでもはっきりしゃべるためのコツ

米子市地域リハビリテーション活動支援事業、米子市主催、H30.8.22、米子市

・杉原健太郎(理学療法士)

腰痛・膝痛・肩痛等の予防について

回復期リハビリテーション看護師認定コース、回復期リハビリテーション病棟協会主催、H30.9.18、東京都

・角田賢(医師・病院長)

全身管理とリスクマネジメント 回復期リハビリテーション病棟におけるリスク管理

リハビリテーション・ケア合同研究大会 米子 2018、日本リハビリテーション病院・施設協会・回復期リハビリテーション病棟協会・全国デイ・ケア協会・日本訪問リハビリテーション協会・全国地域リハビリテーション研究会・全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会主催、H30.10.3-4、米子市

・角田賢(医師・病院長)

現在・過去・未来。神話の故郷山陰で「これから」を考える

・竹内茂伸(言語聴覚士・副院長)

主催団体シンポジウム 1 リハ病院と歯科医師会による医科歯科連携の取り組み、成果、展望

「失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修」伝達講習、山陰言語聴覚士協会主催、H30.10.14、米子市

・松橋菜実子(言語聴覚士)

在宅及び地域社会における失語症者とのコミュニケーションについて

鳥取県介護労働安定センター主催、H30.10.18、米子市

・今田健(理学療法士・リハビリ技術部課長)、原大樹(理学療法士・リハビリ技術部主任)、木村誉、長崎正義(理学療法士)

腰痛の2大要因とその予防

第 114 回全職種研修会、回復期リハビリテーション病棟協会主催、H30. 10. 27、東京都

・角田賢(医師・病院長)

回復期リハビリテーション病棟総論

平成 30 年度第 1 回保健医療委員会研修会、鳥取県社会福祉士会主催、H30. 10. 27、米子市

・花本知栄(社会福祉士)

所属病院の役割や取り組み紹介

組織で取り組む腰痛予防は、再発率と欠勤日数を減少させる

鳥取県介護労働安定センター主催、H30. 11. 9、米子市

・今田健(理学療法士・リハビリ技術部課長)、遠藤美紀、鳥谷香蓮、木村誉(理学療法士)

米子市地域リハビリテーション活動支援事業、米子市主催、H30. 11. 12、米子市

・松橋菜実子(言語聴覚士)

口腔ケアと誤嚥予防について

鳥取県看護協会創立 70 周年記念、鳥取県看護協会主催、H30. 11. 17、米子市

・山崎昭子(看護師・副院長)

近未来の鳥取の看護を語る

平成 30 年度経口摂取支援研修会、島根県経口摂取支援協議会主催、H30. 11. 18、松江市

・角田賢(医師・病院長)

地域包括ケア時代の食支援

米子市地域リハビリテーション活動支援事業、米子市主催、H30. 11. 30、米子市

・松橋菜実子(言語聴覚士)

口腔ケアと誤嚥予防について

メディカサポート主催、H30. 12. 10

・北山朋宏(作業療法士・リハビリ技術部課長)

中重度認知症の方の生活リハビリテーション

メディカサポート主催、H30. 12. 18

・北山朋宏(作業療法士・リハビリ技術部課長)

中重度認知症の方の生活リハビリテーション

**日本理学療法士協会 職域別管理者中央研修会、日本理学療法士協会主任、
H31. 1. 19、東京都**

・今田健(理学療法士・リハビリ技術部課長)

新人から管理者までの教育体制の整備

**第 58 回近畿理学療法学会 日本理学療法士協会近畿ブロック主催、
H31. 1. 20、奈良県**

・今田健(理学療法士・リハビリ技術部課長)

理学療法士に求められるハンズオフアプローチ. 回復期におけるハンズオフア
プローチ

退院支援コース研修会、鳥取大学医学部附属病院主催、H31. 2. 7、米子市

・坂根嘉奈子(看護師・看護部主任)、片寄加代子、福田由美子(看護師)

回復期リハ病院での退院支援・事例検討会

メディカサポート主催、H31. 2. 18、米子市

・今田健(理学療法士・リハビリ技術部課長)、足立晃一、上村順一、足立睦未、
木村誉、鳥谷香蓮(理学療法士)

座位および座位関連動作を再考する

メディカサポート主催、H31. 2. 19、米子市

・今田健(理学療法士・リハビリ技術部課長)、上村順一、遠藤美紀、木村誉、
板持洗宣(理学療法士)

座位から車椅子姿勢や動作・調整を考える

**平成 30 年度第 2 回保健医療委員会研修会、鳥取県社会福祉士会主催、H31. 3. 2、
米子市**

・今田健(理学療法士・リハビリ技術部課長)・神坂綾(社会福祉士)

質向上への取り組み

第 40 回アクティブシニア健康教室、H31. 3. 15、米子市

	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎正義(理学療法士) <p>骨や関節、筋肉など運動器の衰えが原因で起こるロコモティブシンドローム</p>
<p>外部役職就任状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取大学医学部臨床教授：井後雅之 名誉院長 ・鳥取大学医学部附属病院連携診療教授：井後雅之 名誉院長 ・鳥取大学医学部 臨床講師：大坂保子 主任 ・広島大学医学部 臨床教授：北山朋宏 課長 ・広島大学医学部 臨床教授：今田健 課長 ・広島大学医学部 臨床教授：吉田倫子 ・広島大学医学部 臨床准教授：原大樹 主任 ・広島大学医学部 臨床准教授：遠藤美紀 ・広島大学医学部 臨床講師：小山雅之 主任 ・広島大学医学部 臨床講師：永岡直充 ・広島大学医学部 臨床講師：足立睦未 ・広島大学医学部 臨床講師：長崎正義 ・YMCA 米子医療福祉専門学校非常勤講師：井後雅之 名誉院長 ・出雲医療看護専門学校非常勤講師：井後雅之 名誉院長 ・リハビリテーション・ケア合同研究大会米子 2018 大会長：角田賢 病院長 ・リハビリテーション・ケア合同研究大会米子 2018 実行委員長：竹内茂伸副院長 ・(一社)回復期リハビリテーション病棟協会 理事：角田賢 病院長 ・(一社)日本リハビリテーション病院・施設協会 理事：角田賢 病院長 ・日本リハビリテーション医学会中国四国地方会幹事：井後雅之名誉院長 ・中国四国リハビリテーション医学研究会 理事：井後雅之 名誉院長 ・(一社) 日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員：井後雅之 名誉院長 ・(一社) 日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員：岩田久義 主任 ・(公社) 日本理学療法士協会認定理学療法士試験 認定審査員：今田健 課長 ・(公社) 日本理学療法士協会認定理学療法士試験 認定審査員：遠藤美紀 ・認定社会福祉士認証・認定機構 登録スーパーバイザー：善波吉人 事務長 ・鳥取県地域保健医療協議会委員：角田賢 病院長 ・(一社) 山陰言語聴覚士協会 会長：竹内茂伸 副院長 ・(一社) 山陰言語聴覚士協会 理事：岩田久義 主任 ・(一社)鳥取県社会福祉士会 副会長：善波吉人 事務長 ・(一社)鳥取県社会福祉士会 組織委員会委員長：神坂綾 ・(公財) 鳥取県介護労働安定センター 委嘱相談員：今田健 課長 ・鳥取県リハビリテーション専門職連絡協議会 (POST) 副会長：木佐高志 主任 ・鳥取県病院協会西部支部事務長会 会長：善波吉人 事務長
<p>外部表彰受賞状況</p>	

7 地域貢献実績 (保育所含む)

<p>実習受け入れ実績 延人数 1,730 人</p>	<p>出雲医療看護専門学校、愛媛十全医療学院、岡山医療技術専門学校、川崎医療福祉大学、関西医科専門学校、神戸国際大学、鳥取大学、鳥取市医療看護専門学校、日本リハビリテーション専門学院、広島国際大学、広島大学、松江総合医療専門学校、湊山中学校、米子西高校、リハビリテーションカレッジ島根、YMCA米子医療専門学校</p>
<p>見学受け入れ実績 実人数 239 人</p>	<p>患者さんご家族、医療法人社団正峰会大山記念病院</p>
<p>地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催及び参加等)</p>	<p>学会開催： リハビリテーション・ケア合同研究大会 米子 2018 ・会期 H30 年 10 月 3 日・4 日 ・会場 米子コンベンションセンター、米子市文化ホール ・主催 一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会 一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 一般社団法人 全国デイ・ケア協会 一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会 全国地域リハビリテーション研究会 全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 ・大会事務局：錦海リハビリテーション病院 ・名誉大会長 廣江 研(社会福祉法人こうほうえん 理事長) ・大会長 角田 賢(錦海リハビリテーション病院 病院長) ・実行委員長 竹内 茂伸(錦海リハビリテーション病院 副院長) ・参加者合計 1,836 名 ・一般演題発表 789 演題</p> <p>専門雑誌・書籍掲載： Rehaje Vol. 4、QOL サービス ・杉原健太郎(理学療法士) 通所リハにおける心身機能の維持・改善の工夫 Rehaje Vol. 5、QOL サービス ・杉原健太郎(理学療法士) 通所リハにおける歩行・移動・動作の維持・改善の工夫 日経ヘルスケア 2018 年 7 月号、日経 BP 社 ・角田賢(医師・病院長)、岡本悦子(作業療法士・リハビリ技術部係長) 通所リハビリテーション 減収をカバーするのは原点のリハビリ機能 日本リハビリテーション病院・施設協会誌 2018 年夏 No. 167、日本リハビリテーション病院・施設協会</p>

・角田賢(医師・病院長)
 特集『リハビリテーション・ケア合同研究大会 米子 2018』開催にあたって
Rehaje Vol.6、QOL サービス
 ・杉原健太郎(理学療法士)
 通所リハにおける ADL・IADL の維持・改善の工夫
Rehaje Vol.7、QOL サービス
 ・杉原健太郎(理学療法士)
 通所リハにおける参加・本人の生きがいに対する対応の工夫
学会発表：
第 12 回日本訪問リハビリテーション学術大会 in 北九州、H30.6.16-17、福岡県
 ・長崎正義(理学療法士)
 心疾患の既往がある利用者に対して、活動量計、心拍数を用いて運動強度を設定した一例
第 16 回日本臨床医療福祉学会、H30.9.6-7、東京都
 ・島畑沙綾(言語聴覚士)
 回復期病棟での看取り～QOL 向上のためお楽しみの経口摂取に着目した一症例～
第 52 回日本作業療法学会、H30.9.7-9、愛知県
 ・平野正樹(作業療法士)
 高齢者向け住宅への訪問リハにおいて排泄動作自立に難渋した一事例
 ・村上英里(作業療法士)
 車椅子操作手順を系列化することで動作を習得した配分性注意障害の一例
リハビリテーション・ケア合同研究大会米子 2018、H30.10.3-4、米子市
 ・上村順一(理学療法士)
 在宅での終末期の療養を選択した本人に告知のないがん症例への訪問理学療法介入の一例
 ・増原俊幸(理学療法士)
 地域で行うアクティブシニア健康教室の取り組みと参加者の興味・関心
 ・遠藤美紀(理学療法士)
 生活空間と歩行能力の経時的変化に着目した 1 症例に対する退院後 24 ヶ月間の訪問調査
 ・永岡直充(理学療法士)
 脳血管疾患を持つ患者の呼吸機能障害と当院での訓練実施による変化
 ・長崎正義(理学療法士)
 訪問リハ開始までのケアマネージャーとの連携が退院後の生活機能に及ぼす影響
 ・長崎正義(理学療法士)
 日常生活の活動量をハンズオフの視点で提案、指導し、活動量計を用いて、検討した一例

・野坂進之介(理学療法士)
認知機能障害が改善した者,改善しなかった者における Timed Up and Go test の入退院時変化の比較

・烏谷香蓮(理学療法士)
理学療法時間に外部から来院した患者家族らの見学回数は,在宅復帰率に関連しているか

・烏谷香蓮(理学療法士)
理学療法時間における患者家族らの人数調査より,休日を利用した家族指導を行う取り組みを検討する

・小山雅之(作業療法士・リハビリ技術部主任)
実車評価において半側空間無視が顕在化した若年被殻出血症例

・平野正樹(作業療法士)
排泄動作の自立に向けた補高台の作成 一既製品の福祉用具では対応が困難な事例を通して一

・原田あゆ美(作業療法士)
低栄養患者に対し,食事に焦点を当てた関わりにて本人の意識に変化が見られた症例

・村上英里(作業療法士)
機械浴脱却プロジェクト 一重要項目の選定について一

・池内茜(作業療法士)
食事動作を通して自己効力感が向上した一症例

・山本未来(作業療法士)
疼痛により積極的な麻痺手の使用が困難となった脳梗塞患者への介入

・吉田倫子(作業療法士)
当院における自動車運転再開に向けた評価体制の見直しに関する一考察

・村上英里(作業療法士)
機械浴脱却プロジェクト 一機械浴脱却基準の運用と阻害因子一

・山内亜美(言語聴覚士)
回復期リハビリ病棟における舌圧と摂食嚥下機能、FIM との関連性に関する検討-第1報-

・伊藤美晴(言語聴覚士)
自宅復帰へ向けた支援に環境因子である家族(夫)の考えや心理へ多くの配慮を要した失語症例

・松橋菜実子(言語聴覚士)
一般社団法人山陰言語聴覚士協会における失語症者向け意思疎通支援事業の取り組み

・小谷優平(言語聴覚士)
訪問言語聴覚療法におけるモバイル端末の活用一一般性自己効力感(GSES)の低かった

2 症例の経験-

- ・木佐高志(言語聴覚士)

訪問 ST で外食支援を行なった ALS の一例～進行性疾患患者の自立支援に向けた言語聴覚士の役割～

- ・佐藤勝之(言語聴覚士)

夫の入院で独居になった失語症者に対する訪問リハビリの一例

- ・片寄加代子(看護師)

回復期リハビリテーション病院と急性期病院との看護師間の連携～研修実施の効果～

- ・福田由美子(看護師)

退院時と退院後の FIM の変化について～排泄に関する FIM に注目して～

- ・原口大(介護福祉士)

おむつはずしのある患者に対しての自宅退院支援～おむつフィッターとしての関わり～

- ・原田真希(介護福祉士)

認知症患者に対する夕方の集団レクリエーション活動について

- ・田熊みゆき(介護福祉士)

おむつ説明会による効果

- ・神坂綾(社会福祉士)

当院における鳥取県西部圏域脳卒中『6 ヶ月後維持期状況連絡票』の運用経過報告(第2報)～Barthel Index 得点変化に着目して～

第 5 回日本地域理学療法学会学術大会、H30. 12. 8-9、神奈川県

- ・遠藤美紀(理学療法士)

退院後の閉じこもりを危惧していた1症例に対する生活空間と歩行能力に着目した24ヵ月間の訪問調査

- ・烏谷香蓮(理学療法士)

回復期リハビリテーション病棟における患者家族らの理学療法見学回数と在宅復帰率との関連

第 42 回日本高次脳機能障害学会、2018. 12. 6-7、兵庫県

- ・比田亜希(作業療法士)

視線分析により注意の抑制障害が原因と考えられた系列的操作障害を呈した左頭頂皮質下出血例

- ・村上英里(作業療法士)

半側空間無視を伴う着衣障害患者の徴候と改善経過を織った一例

第 42 回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会、松江市、H30. 12. 9

- ・井後雅之(医師・名誉院長)

回復期リハにおける脳血管系疾患臨床障害型分類の有用性の再検討

第 47 回中国四国リハビリテーション医学研究会、松江市、H30. 12. 9

- ・ 神坂綾(社会福祉士)

当院における脳卒中『6ヶ月後維持期状況連絡票』の運用経過報告~Barthel Index 得点変化に着目して~

回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回 研究大会 in 舞浜・千葉、H31. 2. 21-22、千葉県

- ・ 永岡直充(理学療法士)

呼吸機能障害を伴う脳血管疾患を持つ患者の最大呼気流速と基本動作, 日常生活動作の変化

- ・ 松原岳洋(理学療法士)

転倒患者における危険行動の発生日と転倒発生の関連性

- ・ 烏谷香蓮(理学療法士)

当院における患者家族らによる理学療法見学回数と, FIM 利得および在宅復帰率の関連

- ・ 吉田倫子(作業療法士)

当院における自動車運転再開に向けた評価体制の見直しに関する一考察

- ・ 村上英里(作業療法士)

機械浴脱却プロジェクト —機械浴脱却基準の運用と阻害因子—

- ・ 岩田久義(言語聴覚士・リハビリ技術部主任)

新規採用歯科衛生士への教育体制

- ・ 小谷優平(言語聴覚士)

中長期的な干渉電流型低周波治療により嚥下治療効果を得た廃用症候群の一例